

「批判してくれる人は自分を成長させてくれます」、では有難く批判させていただきます！

(1)長友 ブログに心境吐露「本当に申し訳ない」「すべての批判受け止める」

<http://www.sponichi.co.jp/soccer/news/2014/06/25/kiji/K20140625008440280.html>

「批判してくれる人は自分を成長させてくれます」と悔しさを糧にすることを誓った。

(2)成長停止日本サッカーの訳？！ '08/1/5

<http://www.777true.net/soccer1.pdf>

上記は 2008 年に筆者が書いた日本サッカー協会批判、今日再読しましたが、6年経過でも見解は変わらないです。当時は遠慮で書かなかった事を追加補足します。2014/6/25

(3)本日FIFA-Wカップ:コロンビア戦 1-4 で 2 軍選手団コロンビアの最後の2点は

日本を誘っての日本集中攻撃だが空振り、それを出し抜いての抜いての典型的なカウンター得点、あたかも日本にサッカー初等教育をしているようでした。

核心一つはまさにこのカウンター、統計上サッカーでの最大得点機会が知られています。

前日や本日のTV評価を見回しましたが、カウンタを言及する解説者がほとんど皆無には驚きました。日本人はサッカーがわかっていないらしい。

(4)関係者証言では相手陣営内での早いボールカットを目指す攻撃サッカーなどとの触れ

込み、FWに疲労を伴う守備参加を強要、之では**超高精度球制御**ができなくなる。

それは一番疲労を伴う方法、なぜならばゴール前で相手攻撃を待つ体制での厚い守備位置固めでは走らずに疲労軽減で守備が可能<門守備>。無論しくじれば失点直結は正解。

(5)日本DFはゴール前での守備固めヲ極度に不安視か、警戒して少しでも前線に出た位置

での緩慢な時間稼ぎ？玉保持回にこだわる(確かに安心はできるのだが)、之ではこの時間に相手は守備を固めてしまうのは明らか、この体制で点を取るのは難しい、そこでFWの**決定力不足**という言葉だけが頻発する。

(6)日本DFはFWに長距離配球をしない。**カウンター攻撃が無い**。日本でFWは育成されな

い。みんな一斉に前線に上がって仲良く得点機会分配の悪平等主義ではチームは勝てない。

そもマスコミもファンも悪で、得点選手だけを誉めそやす。DFのボールカットの技術の難しさ<ファウルと裏腹>、後位置からの長い前線への玉配給位置のすばやい予測判断力と高精度制御の難しさとかの機能の重大性をちっとも理解しない。ファンが無知でマスコミが悪質ではDF使命感が育成されない。DFこそが実は最も効果的なボランチだ。

(7)局面展開での大きい打開策が少ない、サイドチェンジが少ない

岡目八目で外からは良く見えるのが球出し先と、それを予測で位置取りする選手、少年サッカーを見るといわゆるボールウオッチャで、ツツキサッカーで、広いスペースを使用したスペース展開がない。玉制御の技術はよく練習するのだが、大域ゲーム展開のスキルが見えないのだ。指導法に問題があるのだろう。

(8) **究極のワンタッチサッカー、ドリブルはFWの専売！！、**

サッカーはボールカットからゴールまでの一本連結線有無を巡るネットゲーム。切断されない条件はパス数が少ない<最小がカウンタ、無論長いたまにはパスカット危険性が付随>、パスカット防止ではワンタッチパスが究極、それは玉をもらう前から既にパス先が決定できてる判断力が付随、玉を得てからドリブルしながらサテ何処に出すでは駄目だという事だろう。受け手は予想位置に走る事になる<連携戦略>。

(9) サッカーは芸術的美技も飛び出す人類史上最大最強の予測不能スポーツドラマ、連携プレーから生じる**一点獲得の難しさ**が最強の大集団悲喜劇を呼ぶ。之を嫉妬する勢力と政治的發展を警戒(利用)する勢力がある。